



# 日本全国みんなで作るサンゴマップ

## 5年目の活動、次へのステップ

浪崎直子

歴代の実行委員

山野博哉・鈴木倫太郎(国立環境研究所), 大堀健司(エコツアーふくみみ), 翁長均(ネイチャーワークス), 岸本多美子(月刊ダイバー), 佐川鉄平・町田佳子・安村茂樹(WWFジャパン), 佐藤崇範(環境省国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター), 嶋谷隆(マリンダイビング), 土川仁・宮本育昌(コーラル・ネットワーク), 春川京子(セブンシーズ宮古島), 平手康市(沖縄県企画部水産海洋研究センター)・古瀬浩史(自然教育研究センター), 鋒山謙一(ルーツ&シューツおきなわ), 山中康司(NPO法人日本安全潜水教育協会), 我妻亨(ダイブテリーズ)





# サンゴマップとは？



## 国際サンゴ礁年2008をきっかけに開始

日本全国みんなで作るサンゴマップ - Mozilla Firefox

http://www.sangomap.jp/

日本全国 みんなで つくる **サンゴマップ**

サンゴマップ を見てみる

サンゴマップって？

実行委員会について

参加のしがた

よくある質問

News

サンゴマップに 参加する

全国のダイバーのみなさん！  
スノーケリングを楽しんでいるみなさん  
みんなの力を合わせて  
日本全国のサンゴマップを  
作成しましょう。

日本のどこにサンゴがあるのか、  
サンゴの種類は何か、  
基本的なこと、  
まだまだよくわかっていません。  
2009年の国際サンゴ礁年に引き続き、  
今年も市民の手で、全国の  
サンゴの状況を明らかにします。  
多くの人の協力が必要です。  
みんなでサンゴの居場所を  
調べよう！

サンゴが分布できる環境を明らかにするためのには、サンゴがない場所の情報もサンゴが  
いる場所の情報と同じくらい重要です。「サンゴが死んでしまっている」「サンゴがいない  
はずなのに、なぜか見えてくる」など、疑問や不安を抱えている方も、ぜひご報告ください。



参加者はインターネットを通じて簡単にサンゴの目撃情報を投稿出来ます。投稿いただいた情報は、リアルタイムで、グーグルマップ上に表示されます。

**誰でも参加できるサンゴのモニタリングプログラムです。**  
サンゴの目撃情報を広く募り、サンゴ礁の現状を把握します。

# 参加の方法

- ・参加者は2つのコースから選択
- ・ウェブサイトより、情報提供者の属性、位置情報、サンゴの生息状況、白化の有無、写真を投稿

誰でもできる！

## 「サンゴがあったよ、なかったよ」コース

1	対象サンゴは？ 探しているサンゴを確認する。	① <u>こんなサンゴを探しています</u>
2	サンゴを見つけた人は写真撮影 カメラを持っていたら、水中の景観とサンゴの写真を撮る。	① <u>写真の撮り方</u>
3	場所と水深を確認 サンゴのあった(なかった)場所と水深を確認する。	
4	観察情報の投稿 情報を「 <u>サンゴマップに参加する</u> 」から送信する。 ※サンゴがなかった場所も報告できます。	① <u>投稿のしかた</u>

できるひとにお願い！

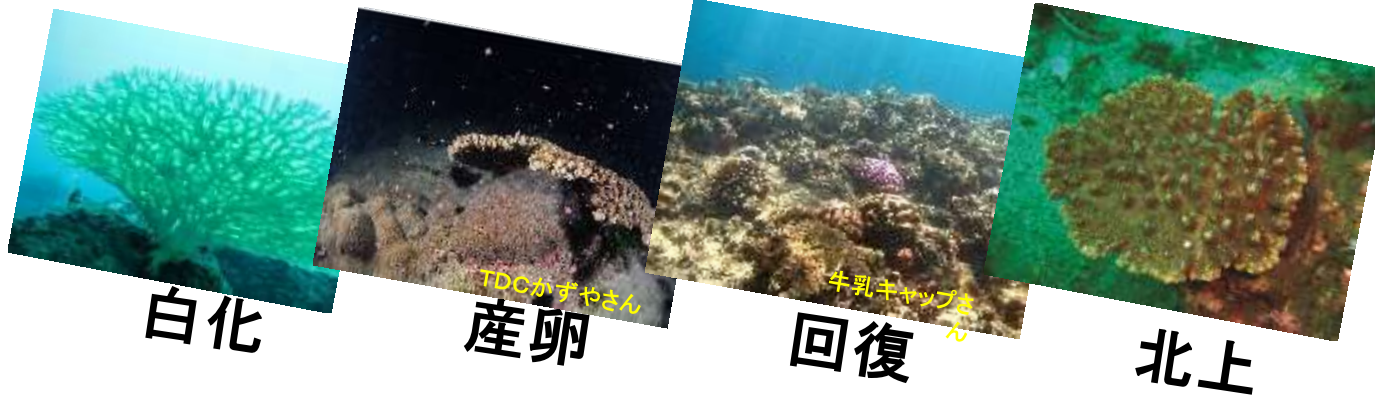
## 「しっかり底質調査」コース

1	調査項目は？ 記録用紙を印刷して調査項目を確認する。	① <u>記録用紙</u>
2	底質を調べる 全体(10m×10m位)を見渡して、海底が何で構成されているかを判別し、それらの占める面積の割合を6段階でチェックする。	① <u>底質について</u>
3	写真撮影 カメラを持っていたら、水中の景観とサンゴの写真を撮る。	① <u>写真の撮り方</u>
4	場所と水深を確認 調査をした場所と水深を確認する。	
5	観察情報の投稿 情報を「 <u>サンゴマップに参加する</u> 」から送信する。	



# 3年目に新機能追加

① 分布情報に加えて、以下4情報を入力できるように！



③ 参加者のモチベーションUP  
情報投稿者ランキング表示

👑 投稿者ランキング

たくさんのご報告ありがとうございます！

1位	牛乳きゅぷさん	(31件)
2位	キョリさん	(26件)
3位	つっちーさん	(22件)
4位	umikkoさん	(16件)
5位	牛乳きゅぷさん	(15件)

双方向情報交換のための  
ブログ

News 実行委員会からのお知らせなど

- 九州のサンゴ (2010/08/27)
- 四国のサンゴ (2010/08/21)
- 暑いですね… (2010/08/17)
- 広がれサンゴマップ (2010/08/11)
- 台風がでまそうぞう (2010/08/08)



② 結果マップも3種表示  
分布・白化・産卵マップ

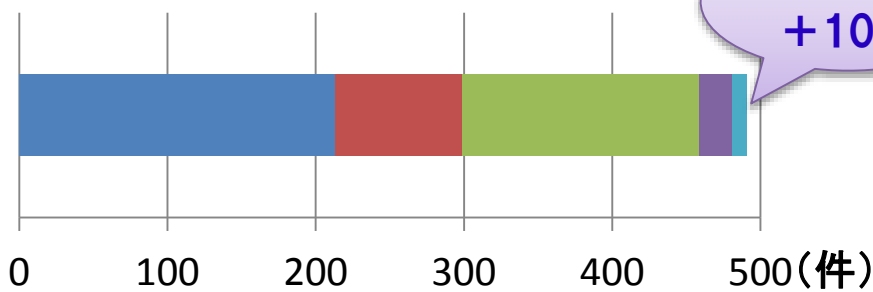
➡ モニタリングデータベースへ

# これまで集まったデータ

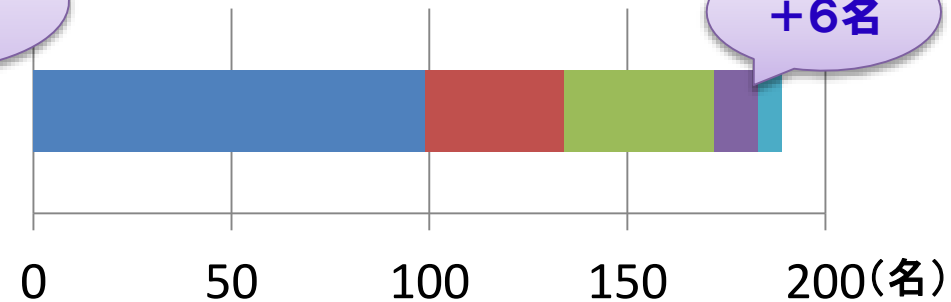
(2008年7月1日～2012年11月20日現在)

## 情報提供数: 491件

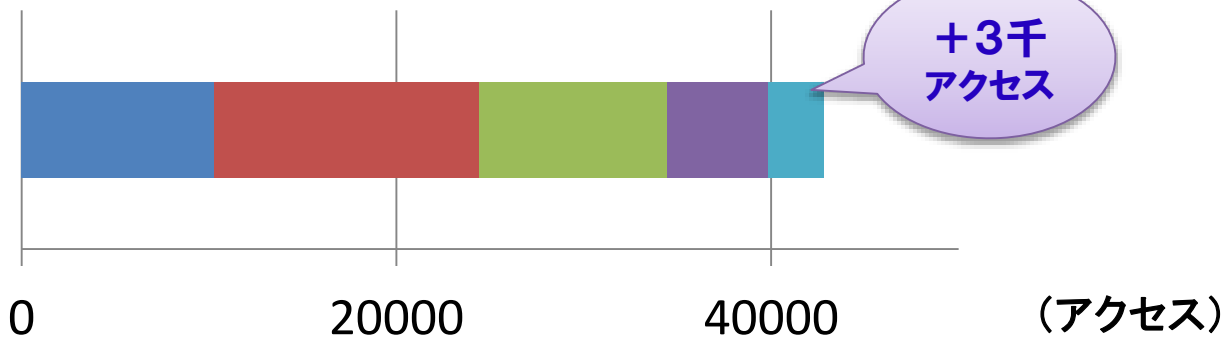
白化412件、回復12件、北上3件、産卵6件含む



## 情報提供者の人数: 189名



## サイトアクセス数: 4万2789アクセス



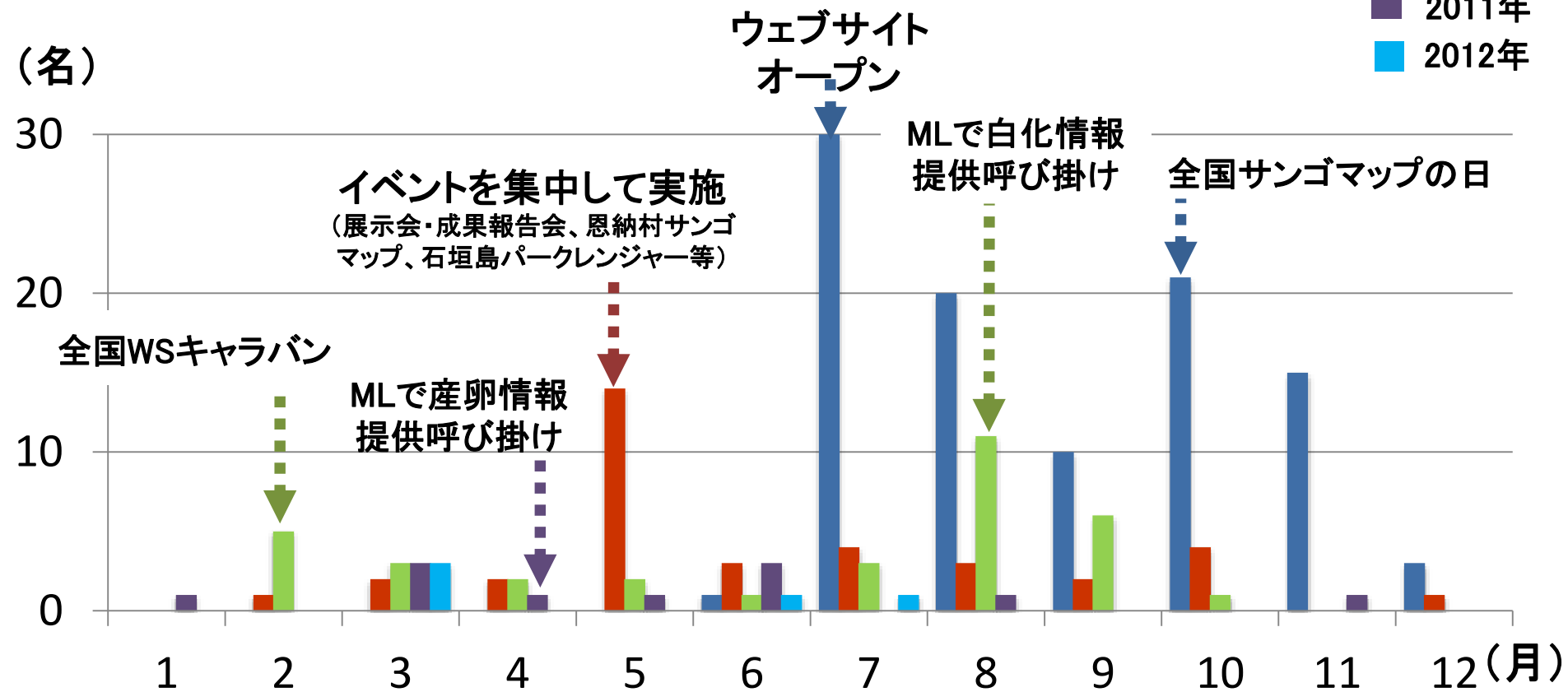
- 2008年
- 2009年
- 2010年
- 2011年
- 2012年



年々減少傾向

## 情報提供者の人数: 189名

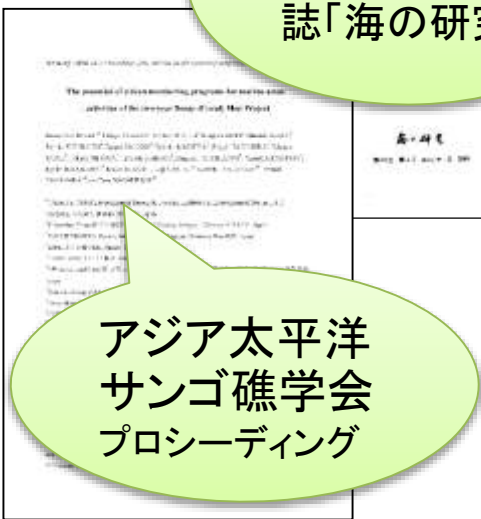
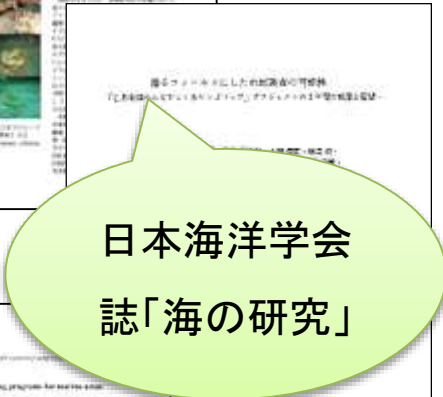
(登録月ごとに新規に情報提供した人の数を表示)



情報提供者の数は、イベントの実施後やメーリングリストでの呼びかけ後顕著に増加する傾向が見られた。

## 集まったデータの活用と連携活動

### ① 学術論文3本出版



### ② 環境教育・パークレンジャー



### ③ ダイビングプログラム



### ④ 恩納村サンゴマップ



# なぜいまサンマップを作るのか？

- ・古いサンゴマップしかない

Old



90～92年作成  
第4回自然環境保全基礎調査



98年の大規模白化や  
オニヒトデ大発生による攪乱



オニヒトデ

New



海洋保護区設定のため  
新しい地図必要

- ・2007年衛星などによるサンゴ礁分布図作りスタート  
山野博哉(国立環境研究所)

課題：藻類と造礁サンゴの区別が難しい

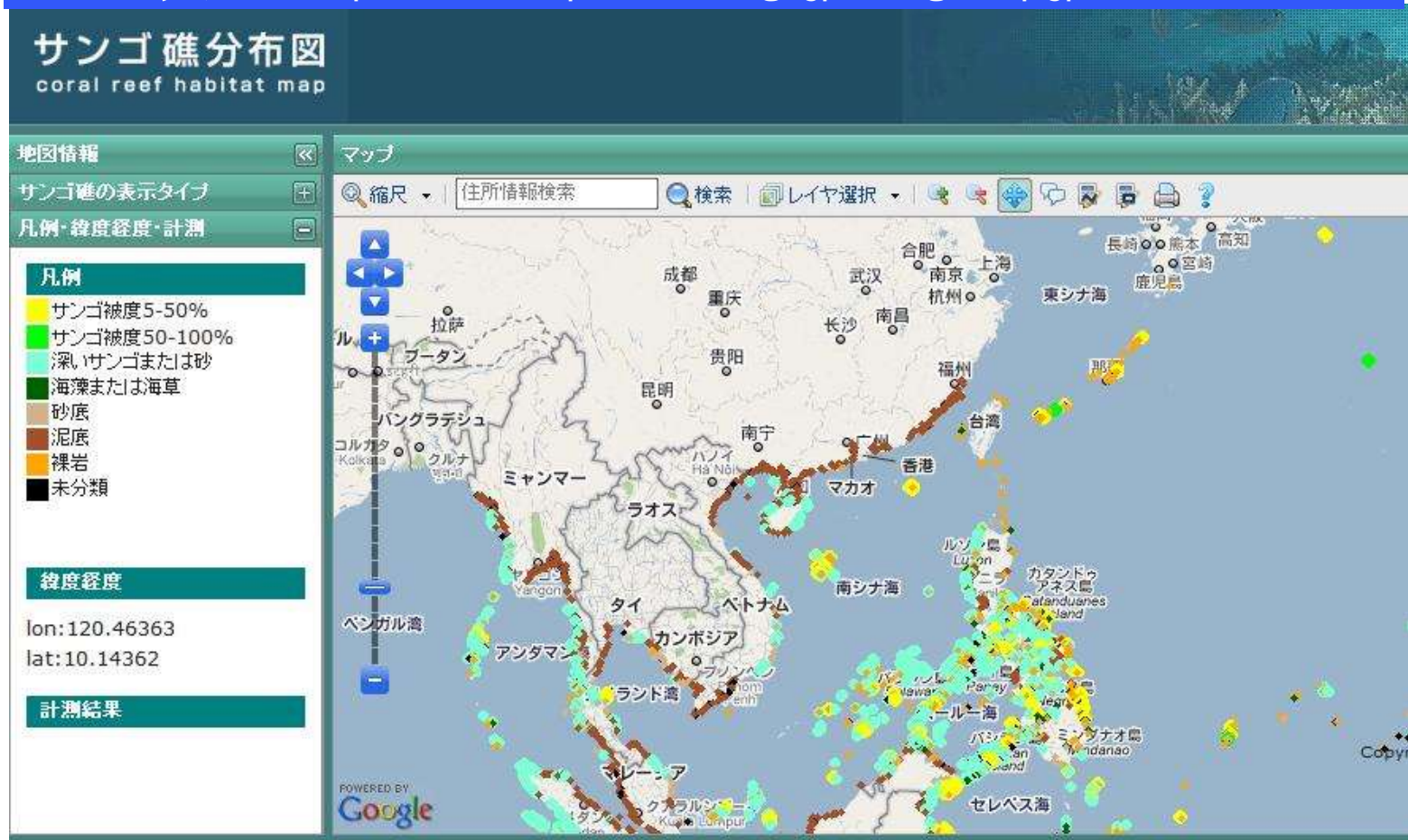
5m以深は判別できない

⇒現地情報が不可欠



# 環境省「サンゴ礁分布図システム」公開

出典元：[http://coralmap.coremoc.go.jp/sangomap\\_jpn/index.html](http://coralmap.coremoc.go.jp/sangomap_jpn/index.html)



形ある成果が生まれ、誰もが気軽に参加できる「間口の広い普及啓発活動」でありながら「政策的にも学術的にも貢献度の高い活動」に繋がっています。

# サンゴマップの目指すところと次のステップ

## ①日本全国サンゴ分布のデータベース

【サンゴがどこにいるのか知るため】

→まずは達成

## ②緊急時(白化)の情報収集システム

【何かあったとき、規模と原因を把握するため】

→緊急時に活用可能なツールとして普及したい

## ③サンゴ礁保全のはじめのアクション

【サンゴ礁保全に関わる人を増やすため】

・産卵・分布マップを見て、次にサンゴ観察に行く場所を検討する人も

→エコツアーや環境教育での活用の可能性

・サンゴが激減した場所を定期的にチェックして「回復したよ」と情報提供したい

→情報をリアルタイムで誰もが発信・共有できる仕組みを活かして、サンゴ礁保全の盛り上げに貢献できないだろうか・・・